

ココロ  
ノ  
カタラ

Fruit basket  
fan magazine



大好きな人に  
わかってほしいことがあるの

わたしの  
すべてのことを知って  
そしてそれでも



わたしを好きだと  
だきしめてほしいの

# 気持ちの欠片

真田 鈴  
SANADA Rin



杞沙…

そんなに強情だと  
また「離れ」に  
送ってしまうよ…？

忌わしくて…  
汚れていて…

杞沙さ…ん…っ…

でも…必要な  
「離れ」…

だから…ここを…

お姉ちゃんにも  
知って欲しかったの…

杞…沙さん…

だ…  
大丈夫です…





わたしの…  
いいえ…  
草摩の「呪い」を  
知って…  
……それでも…？

はあっ！

私ったら  
また…！

はうっ！

こ…これは…っ！

そ…これに  
な…んでしようか  
この…匂い…は…

あれ…？

きっ…

杞沙さんは  
ご無事で…

暗くて…

お姉…ちや…



杞…  
杞沙さん!!

!!



杞沙さんに  
何てこと…!?

はな…っ  
離れ…っ…!

は…ん…

あ…



お姉ちゃん  
遠うの…

ここに  
いる人たちは  
草摩の犠牲になった  
みんな…  
人ばかり…なの…



わたしのようにな…  
「物の怪」に取り憑かれても  
完全に同調できるのは  
珍しいことで…

ここには…そんなふうな…

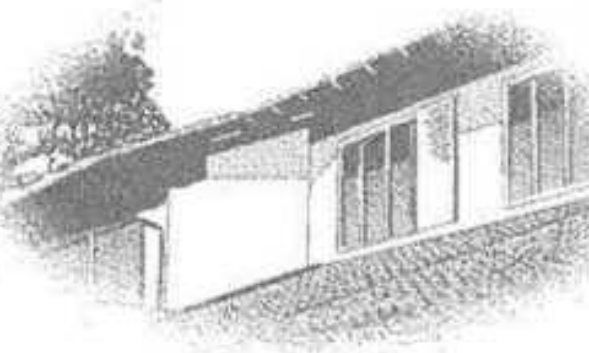
「上手く同化できずに  
変化してしまった人たちが」が  
沢山いて…

隠されるように  
住んでいるの…



一生…  
外の世界も知らず…

異形のまま…



だ…  
だからといって…

杞沙さんが  
こんなことまで…





違うの…

だって柰沙も  
この人たちと  
おんなじなんだもの

………!!

気持ちが…ね…  
よくなつちやうと

柰沙の体の中から  
出てきちやうの…

柰沙さん…っ！  
そんな…！

こんな…私…でも…  
今までと…  
変わらずに…

くっ…

でも…嫌だよね…  
怖い…よね…？

き……さ……さ……

あ……っ

杞沙さ……!

泣かないで  
お姉ちゃん  
……

覚悟……  
してたから

ただ……  
ただね……

「本当のわたし」を  
知って欲しかった  
だけなの……

それだけだったの……

杞……沙……さん

カギが……  
そこにあるから……  
帰って……  
お姉ちゃん……







あつ……!

気持ちいい……よお……

お……  
お姉ちゃ……んっ

紀沙さんがいいと  
わたしも嬉しいです……



びびり

ああ……もう  
だめ……っつ

きつ……  
紀沙さん……!?

お姉ちゃんの  
ココに……

ああ…っ

いやあ…っ

お姉ちゃんの中…  
気持ち…  
よすぎ…っ

柰沙の…も…  
出ちゃう…っ

だめえ…っ

あっ

出ちゃう…っ

あっ

出ちゃう…っ!!





わたしのすべてを  
知ってほしいの

わたしを好きだと  
抱きしめてほしいの

わたしのすべてを  
あげるから...



あっ!

皆さん  
迎えに来て  
下さったのですね...

あ...

あれ.....?

変身しない...?

しーっ...

わたしの秘密を  
あげるから...

杞沙...

おまえまさか...?

一体どうなってるの?

私さっ  
せせせっ

〈おわり〉

ココロノカケヲ

Fruit basket fan magazine

— Nmode —

Yaotetsu  
(八百鉄)

2001.12.29

業無断転載

©Studio PAKIRA / 2001